

令和7年度第1回成田市保健福祉審議会子ども・子育て支援部会 会議結果概要

1 開催日時 令和7年7月22日（火）10：00～10：50

2 開催場所 成田市役所議会棟3階 第一委員会室

3 出席者

（委員 10名）

山田委員（部会長）、木村委員（職務代理者）、高橋（雅）委員、小暮委員、
篠田委員、小川委員、小笠原委員、麻生委員、宮田委員、葉山委員

（事務局）

こども未来部：宮崎部長

こども政策課：菅谷課長、檜垣課長補佐、高仲主幹、兼坂主査

子育て支援課：川名部課長、北野家庭センター室長

保育課：弘海課長、多田主幹、北見主幹、遠藤係長、岩瀬係長

健康増進課：森田課長

社会福祉課：鈴木課長

4 議題

（1）「第2期成田市子ども・子育て支援事業計画」の達成状況について

（2）子ども・子育て支援に関する現状と取組について

（3）家庭的保育事業所の認可及び利用定員について

5 議事（要旨）

事務局から、議題（1）「第2期成田市子ども・子育て支援事業計画」の達成状況について、議題（2）子ども・子育て支援に関する現状と取組について、議題（3）家庭的保育事業所の認可及び利用定員について、配布資料に基づき説明があった。

6 質疑等

<議題（1）>

・質疑等なし

<議題（2）>

・資料1ページの待機児童数と入所待ち児童数の違いは。（宮田委員）

⇒入所待ち児童数は、申請をしたものの入所できていない児童数になります。

待機児童数は、国から示された指針を元に、入所待ち児童のうち、利用可能な他の保育所等をご案内しても、特定の保育所等のみを希望する児童などを除いた数となっております。

・保育士不足で児童を入れることができないのが今の保育園の現状である。学校で話を聞いたが、保育士を希望する若者が少なくなっているようである。成田市は、保育士不足をどのように

解消しようと考えているのか伺いたい。(木村委員)

⇒保育士確保については、本市にとっても重要な課題と捉えており、昨年度からなりた手当を増額し、給与の底上げをするなど、処遇改善を図っているところです。

人材不足は他業種も同様で、異業種間での人材の奪い合いが生じていることから、本市としては保育士の処遇改善を継続して実施していくとともに、保育士の魅力発信を行い、「保育士になりたい」と思う人が増えるようにPRしていくことも必要だと考えております。

・保育士不足は大きな問題だと思うが、この入所待ち児童の中に障害を理由にして、幼稚園・保育園に入れないお子さんがいるのか。(宮田委員)

⇒障害だけを理由に入所待ちになっている方はおりません。保育所等の利用調整のための基準が定められており、保育の必要性の高い方から順に各園に入所しております。

<議題(3)>

・なりた子育てガイドブックには、定員3名になっている。今回の資料では5名だが、株式会社になり、スタッフが増員されたことで5名になったということか。(宮田委員)

⇒そのとおりであります。

7 傍聴者 なし